



第24回 日本雑草学会シンポジウム

【テーマ】「**雑草を循環型社会の資源として見直そう**」

【趣 旨】

雑草は雑草害を引き起こす場合はマイナス・インパクトを与えるが、植物学的な特性として雑草性を評価すればプラス・インパクトとして活用可能な資材となります。現在では、雑草管理の基礎理念に変遷がみられ、環境保全の立場から循環型社会の資源として見直されつつあり、緑化植物・環境浄化植物・バイオマス資源及び遺伝資源として、様々な活用が評価され始めています。日本雑草学会では、学術研究部会として2004年より雑草利用研究会を設立し、雑草の機能を解析した上で、新しい技術を導入した雑草利用学への学術的方向づけと学界内外への発信を目的として活動しています。

本シンポジウムでは国内のみならず韓国からも講師を招聘し、雑草の利用化に対する概念を十分に理解し、今後の展開方向について論議することを企画しました。どなたでもお気軽にご参加下さい。

日 時

2009年9月1日(火) 10:00~15:30

場 所

文部科学省研究交流センター (つくば市竹園2-20-5 TEL:029-851-1331)
(所在地地図http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/kouryucen/005.htm)

プログラム

- 10:00-10:15 開会(開会の辞・会長挨拶)
- 10:15-11:15 「Utilization of weeds and their perspectives in Korea」
Prof. Dong-Hyun Shin (Kyungpook National University, Korea)
- 11:15-12:15 「埋土種子を用いた稀少植物の再生～“雑草の保全”の意味と実務の例～」
関岡 裕明氏(株式会社 環境アセスメントセンター)
- 12:15-13:45 <昼食・休憩>
- 13:45-14:45 「雑草によるCd汚染土壌の修復」
小笠原 勝氏(宇都宮大学)
- 14:45-15:30 総合討論
- 15:30 閉会の辞

参加費

※事前の参加申し込みは不要

- 会員：2,000円 ■学生会員：1,000円 ■非会員：3,000円
- 要旨(資料)代：2,000円

情報
交換会

日時：8月31日(月) 17:15~19:15
場所：レストランエスポワール(つくば国際会議場内)
会費：4,000円(学生 2,000円)

※前日の8月31日(月)に研究交流センターにて合同研究会が開催される関東雑草研究会・植調関東支部雑草防除研究会と合同で開催します。参加ご希望の方は下記事務局まで事前にお申込みください。

主催：日本雑草学会シンポジウム委員会・同雑草利用研究会

■お問い合わせ■

日本雑草学会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6(植調会館6F)
TEL:03-3834-6375 E-mail:office@wssj.jp

